

健やか親子21 ―すべての子どもが健やかに育つ社会に向かって―

～乳幼児期の子どものかかわり方～

母子保健は、すべての子どもが健やかに成長していくうえでの健康づくりの出発点です。健やか親子21（母子の健康水準向上のための国民運動計画）では、安心・安全な妊娠・出産・育児のために、母子保健対策の充実や社会全体で子育て世代を支えていく地域づくりなどに重点が置かれ推進されています。

乳幼児期の子どもにとって、周囲の大人の影響は大きく、「まね」することからいろいろな「学び」をしていきます。親の大きな役目には「からだづくり」「生活リズムづくり」「こころ育て」があります。子どもの「今」に向き合い、大人が主導権を持って、生活を作り上げていくことが大切です。遊びも含めた生活体験すべてが、人と関わる力・自己表現力・新しいものに挑戦していく心…など成長につながっていきます。

親や大人に「大切にしてもらった記憶」「見守ってもらった経験」は自分を肯定的に受け止めたり、思いやりの気持ちを育てたりする大切な基礎となります。成長するにつれ、時には叱る場面もあると思いますが、感情的にならず、何がいけないのか、どうすればいいのかその場できちんと伝えていきましょう。子どもと過ごすコミュニケーションの時間を楽しみながら、個性を見守り、育てていきましょう。

乳幼児期のお子さんの成長発達、子育てに関するご相談などは、保健センターの「健康相談」や「乳幼児健診」等をご利用ください。



【問合せ】友部保健センターTel.0296-77-9145・笠間保健センターTel.0296-72-7711・岩間保健センターTel.0299-45-7888

生涯学習だより⑥0

■問合せ／生涯学習課（内線382）

-Life Long Learning-

Life Long Learning＝生涯学習

第12回かさま国際音楽アカデミーが開催されました

3月21日（月）～28日（月）、「第12回かさま国際音楽アカデミー」が開催されました。今回のアカデミー開幕前日の3月20日（日）には、新笠間市誕生10周年を記念して「かさま国際音楽アカデミースペシャル・ガラ・コンサート」が開催され、コンクールなどで活躍の目覚ましい7名の受講生と、NHK交響楽団のメンバーを中心に、この日のために特別編成された「かさま祝祭合奏団」による美しいアンサンブルの響きを楽しむことができました。

アカデミー期間中は、世界最高峰の講師によるレッスンやリサイタル、音楽愛好家による街角コンサートが市内各所で行われるなど音楽に包まれる8日間となりました。



スペシャル・ガラ・コンサート



ヴァイオリンレッスンの様子